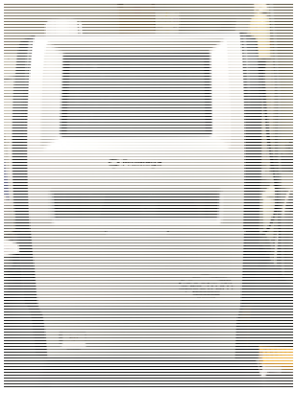
総合分析実験センター

佐賀大学総合分析実験センターは教育研究支援を目的として設立された全学共同利用施設で、生物資源開発部門、機器分析部門、放射性同位元素利用部門、環境安全部門の４部門からなり、本庄・鍋島キャンパスに各部門が設置されています。当センターでは、次のテーマに対する教育・研究支援をミッションとし、学内・学外に対して広く活動しています。

１．高性能分析装置を用いた機器分析に関する教育・研究ならびに支援
２．遺伝子組換え実験に関する教育・研究ならびに支援
３．動物福祉に基づいた動物実験に関する教育・研究ならびに支援
４．放射線および放射性同位元素利用に関する教育・研究ならびに支援
５．環境分析および作業環境の維持管理に関する教育・研究ならびに支援

設置機器	
超伝導高分解能フーリエ変換核磁気共鳴装置（NMR）	陰圧一方向式飼育ラック、クリーン飼育ラック、およびバイオセーフティ飼育ラック
電子スピン共鳴装置（ESR）	マイクロインジェクション装置
Ｘ線構造解析装置（結晶・粉末）	バイオハザードルーム
電子顕微鏡（透過型・走査型）	放射線管理区域（放射線実験室）
共焦点レーザー顕微鏡	放射線照射装置（Cs-137ガンマ線照射装置、エックス線照射装置）
質量分析装置（GC-MS, LC-MS/MS）	遺伝子組換え植物温室
DNA シークエンサー	マイクロX線CT装置

＊主な設置機器を記載